

# 「家がいいね」 第250号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2025. 3. 7



箱根の山は天下の險(けん)  
 函谷關(かんこくかん) も物ならず  
 万丈(ばんじょう)の山  
 千仞(せんじん)の谷  
 前に聳(そび)え  
 後(しりえ)に支(さ)え  
 雲(う)は山(やま)をめぐり 霧(きり)は谷(や)をさす  
 屋(や)猶(なほ)蘭(らん)(ひるなわくら) き杉(ま)の並木  
 羊腸(やうちよう)の  
 小径(しょうけい)は  
 苔(こけ)滑(なめら)か  
 一夫(いつぶ)關(かん)に當(あ)るや  
 万夫(ばんぶ)も開(ひら)け  
 天下(てんか)に旅(たび)する剛毅(ごうぎ)の  
 武士(ぶし)もの心  
 大刀(だいたう)腰(こし)に  
 足駄(あしだ)がけ  
 八里(はちり)の岩(いわ)踏(ふ)み鳴(な)らす  
 斯(か)くこそありしか  
 往事(おとじ)の武士(ぶし)もの心

箱根八里 1901(明治34)年

## 75歳は人生の難関か、はて

健脚だった昔でも登り下り、30キロ余の山道は難行苦行、おまけに怖い関所もありました。右の唄の頃に、湯本まで電車が通り、スイッチバックの登山鉄道建設も始まったようです。電車がゆっくりと登る急坂も長く、終点も中腹です。幼い私に、誰がこの箱根八里(滝廉太郎作曲)を教えてくれたのか、全曲を唱い上げたと大人が驚いたと聞きました。再挑戦を試みましたが、古い脳の中からの再生は「苔なめらか」まででした。人生の古いの坂の転換点は、75歳(後期高齢者)が一つの関所です。通る壁が医療保険制度、運転免許、寿命が延び続ける時代は、**どう死ぬかよりどう老いる**か日々考えるのが肝要です。戦後のベビーブームの子(団塊世代)は、老いつつ**どう生きるか**の挑戦者です。多文化の世界を生き協調し次の世を育てる担い手です。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105

メール [homecare@kr.tep-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tep-ip.or.jp)  
<https://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可

臨時休診のお願い  
**4月19日(土)**は、  
 遠藤出張し、外来休診です。  
 在宅の患者様は  
 大久保が担当します。



クリニックは、現在より伊勢市駅近くで継続です。  
 移転は数か月以内。下の写真の外壁が第一ヒント。



ご心配で  
 しょうが、  
 安心して  
 ください。



お引越し? 移転?

### 高額療養費制度 変わる自己負担限度額(月額)

| 年収       | 現行       | 2025年8月~               |
|----------|----------|------------------------|
| 約1160万円~ | 25万2600円 | 29万 400円<br>(+3万7800円) |
| 約770万円~  | 16万7400円 | 18万8400円<br>(+2万1000円) |
| 約370万円~  | 8万 100円  | 8万8200円<br>(+8100円)    |
| ~約370万円  | 5万7600円  | 6万 600円<br>(+3000円)    |
| 住民税非課税   | 3万5400円  | 3万6300円<br>(+900円)     |

### 高額療養費制度の仕組み



医療費を、もてあそばす国では困ります  
 選ばれるを得ないのに高額な医療費。一方的  
 で唐突な制度の改悪は、理不尽です。